

土地生産性の維持による農業の確立

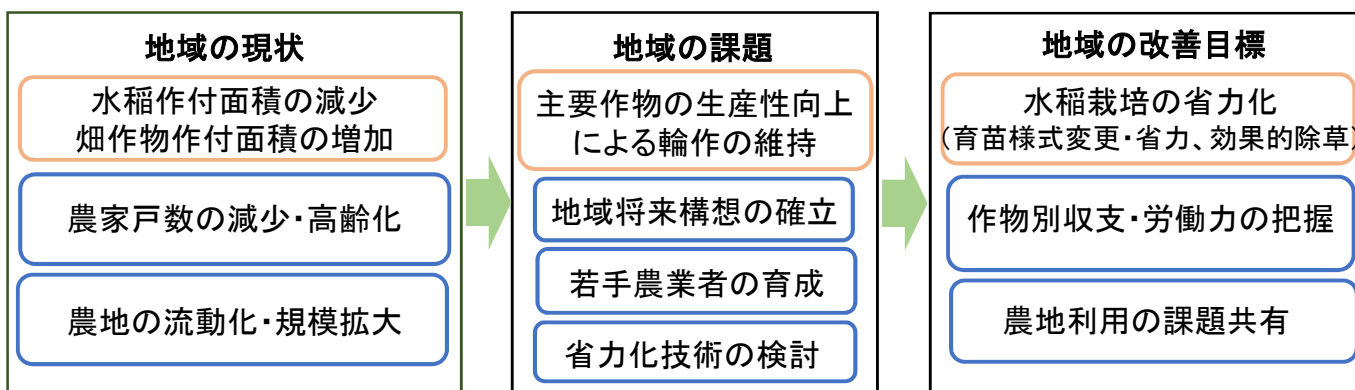
～次世代へつなげる農業つながる地域～ 活動対象：剣淵町東町南地区（25戸）

農家戸数減少に伴い、一戸当たり面積の拡大が生じている。

本年度は、水稲省力化技術である密播中苗栽培及び除草剤の効果的な活用法について試験を設置した。密播中苗栽培については疑問点・問題点および解決方法を検討会で共有し、技術情報が整理された。

今後の農地の維持に向け、輪作補完作物として緑肥の導入を推進するため、試験展示ほを設置し、導入マニュアル作成に取り組んだ。また、ほ場の排水性をテーマに耕地図を活用し、問題・課題の共有をした。若手農業者に対しては、より経営実態に合った類型を作成し、経営シミュレーションを実施した。

1 課題の背景



2 活動の経過

主要作物の生産性向上	目標 ・水稲省力化栽培の導入	
密播中苗栽培の提案	除草作業の省力化を検討	
 は種・移植時の現地支援	 試験実施・水位計の設置	
地域将来構想の確立	目標 ・経営シミュレーションの実施 ・農地利用の検討会実施	
緑肥活用に向けた支援	緑肥活用に向けた支援	農地利用の課題を共有
 経営シミュレーションも やってみようかな	 メーカーと協力し 品種試験ほ設置	 透排水性の情報を 地図に書き込み
経営シミュレーション実施に向けた 作物別の作業実態を整理		

3 活動の成果

◎主要作物の生産性向上

○ 新たに2戸で密播中苗に取り組まれた

農業者	区分	苗箱使用枚数(/10a)	慣行対比
P氏 (一部導入)	密播中苗	18箱	72%
	慣行中苗	25箱	-
A B氏 (全面積導入)	密播中苗	25箱	83%
	参考) R4中苗	30箱	-



来年は全面積で挑戦したい!(P氏)

ハウスの棟数を変えずに面積増加に対応できたよ(AB氏)

省力性が実感され、継続実施に意欲的

○ 町内外の農業者にも取組みを紹介



重点地区の女性農業者からは

ハウス棟数が減るのはとても良いね

自家以外を知る機会がないから勉強になったよ

参加者同士で作業上の工夫も共有された

○ 令和6年産に向けて

苗の滑りがあり良くなかった
欠株を減らすには…?



改善検討会を実施



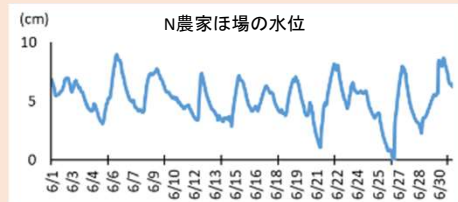
先輩農家を中心に活発な意見交換

機械の設定で良くなるよ!

栽培の注意点が整理され、不安が解消された

○ 省力的な除草の検討

散布回数の低減には至らず…



ほ場の水持ち悪く、除草効果が発揮できていないことが判明

⇒ 次年度に整備後ほ場で水持ち・除草効果確認

◎地域将来構想の確立

○ 作物別収支および労働力の把握

生活設計のシミュレーションで今後の可視化
→ 営農Naviの経営シミュレーション実施に意欲を示す

実施農家



経営の柱の野菜は選果時間がもったかかるよ

じゃあ労働時間を修正してシミュレーションに使いましょう



栽培履歴や作業日誌を基に各作業の労働時間を修正

より経営実態に合った労働指標が完成

今の面積で労働力が変わったら?



将来構想の材料として活用

○ 農地利用の課題共有

〈緑肥の活用〉

試験ほ設置で活用への理解が深まった



昨年の緑肥勉強会により

チャガラシを導入したよ
生重量もかなりあるよ!

栽培事例としてまとめ
今後地域に共有予定

〈土地情報の共有〉

地域の透排水性の情報を白地図で共有

ここの暗きよは50年前のまま

土質の境目から水が湧いてくる



⇒ ベテラン農業者だからこそ知る情報が蓄積された

4 今後の課題

- 省力化に向けた技術支援 (水稲密播中苗栽培の情報整理・共有等)
- 若手農業者の経営管理・構想能力の向上
- 農地の透排水性改善に向けた課題共有・改善方法の検討